

【滋賀県初】国内外で話題のグランピングを導入！ 2016年10月1日(土)、10:00～予約受付開始

2016年9月

美しい奥琵琶湖の湖畔に、隠れ家のように佇むリゾートホテル『奥琵琶湖マキノグランドパークホテル』(株式会社マックアース/所在地:滋賀県高島市マキノ町西浜763-2/支配人:小栗 慶一)は、滋賀県内のホテルとしては初めてとなるグランピング TENT を導入。2016年10月1日(土) 10:00より、各種宿泊プランを販売いたします。



“グランピング”とは、グラマラス(glamorous)+キャンピング(camping)を掛け合わせた造語で、**キャンプならではの自然環境の中でホテル並みの快適さやサービスを体験する**という新しいキャンピングスタイル。世界各国での人気に留まらず、日本全国各地にグランピングスポットが続々と誕生、注目が集まっています。

オクビワコ マーヴェラス グリーン

奥琵琶湖マキノグランドパークホテルでは、当施設を【**Okubiwako Marvelous Green(略称:OMG)**】と命名。

“美しい奥琵琶湖の自然と、緑溢れる景観に抱かれる特別な時間”をご体感いただけるグランピングTENT3棟は、毎年3月1日～11月末日の期間中、季節を問わずお楽しみいただけます。(12月1日～2月末日までは冬季休業)。

“OMG”はTENT1棟につき、最大7名様までご宿泊可能。素泊まりや、お食事付きなど各種プランをご用意しております。TENT前でのバーベキュー、ホテルレストランでのお食事の他、お客様による食事のお持込みもOK。

さらに、湖畔でのステイをよりお楽しみいただけるアクティビティとして、焚き火セット/カヤック体験(7・8月のみ)/レンタル自転車/釣り道具などもお貸しいたします(オプション商品につき料金別途)。

国の重要文化的景観や、環境省選定の「快水浴場100選」にも選出された美しい水質を誇る当ホテルのプライベートビーチに誕生。滋賀県初、雄大な自然の中で心からの寛ぎをお約束する“OMG”は、10月7日(金)よりご宿泊可能です。

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

奥琵琶湖マキノグランドパークホテル

〒 520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜763-2

TEL 0740-28-1111 FAX.0740-28-1110 E-Mail:y.isoishi@macearthgroup.com

イソイシ ユウコ

担当:磯石 裕子

- 予約開始日 2016年10月1日(土) 10:00～ ■宿泊開始日 2016年10月7日(金) 10:00～
- チェックイン 15:00 ■チェックアウト 10:00
- 料金 テント1棟：28,000円～(最大7名様まで宿泊可)
- プラン 1泊2食付きグランピングプラン(4名様～)：15,500円(大人お一人様料金) ※4名様以上はお一人様7,500円の追加
- 食事 BBQ(ホテル手配)：6,000円～ / レストランディナー：3,000円～ / ビーチブレックファースト：1,500円(全てお一人様料金)
- オプション商品 焚き火セット：3,000円 / カヤック・Sup：3,000円(7・8月のみ) / レンタル自転車：500円 / 釣り道具一式：1,000円

【グランピングとは】

「グラマラス(Glamorous)」と「キャンピング(Camping)」を掛け合わせた造語で、ホテル並みの設備やサービスを利用しながら、自然の中で快適に過ごすキャンプのこと。従来型のキャンプとは一線を画し、テントの設営や食事の準備などの手間がかからず、初心者でも気軽に楽しめる点が人気を集めている。

欧米では5年ほど前から流行、日本では、2014年ごろから高級志向と相まって注目され始め、専用施設も増えてきている。

多くの場合、キャンプ場などにあらかじめ設置されたテントやキャビン(小屋)などの施設を利用する。施設はホテルの一室をそのまま自然の中に設置したイメージで、冷暖房や風呂、トイレなどが完備されている。

食事については、用意された食材を焼いてバーベキューを楽しむ、料理がテントに運ばれる、といった形で提供されるため、調理器具を使って作る必要はない。山の中の簡易宿泊施設のようなものから、水辺に面して建ち、室内に天蓋付きベッド、屋外に浴槽、カヌーやプール、アスレチック施設などが完備された高級リゾートホテルのようなものまで様々なタイプがある。

【奥琵琶湖マキノグランドパークホテル】

400万年もの歴史を持つ日本一大きい湖・琵琶湖。なかでも、昔からの美しい自然を数多く残す湖西地区に建つ、隠れ家的なホテルです。「重要文化的景観」に選定された奥琵琶湖マキノグランドパークホテルのプライベートビーチを含む周辺沿岸部の澄んだ湖水と、幻想的な山並みに囲まれた景観は、非日常的な気分を一層きわだたせます。

ここはまさに、一年中お楽しみいただけるオールタイムリゾートです。

客室は、木の魅力をふんだんに取り入れたログハウスのような空間、湖川の客室からは、ビクチャーウィンドウを通して湖の景色をお楽しみいただけます。また、お食事、宴会、ウェディングなど、高いホスピタリティで幅広いサービスをご提供しています。奥琵琶湖マキノグランドパークホテルの情報は、<http://www.gphotels.jp/>をご覧ください。

■客室総数60室(ファミリールーム20室/ツインルーム20室/セミダブルルーム20室)、レストラン、ラウンジ、宴会場、コンビニエンスショップを併設)



奥琵琶湖マキノグランドパークホテル全景

【株式会社マックアース】

1961年、兵庫県養父市に前身となる食堂を開業、翌年に山小屋をスタートさせる。72年に山小屋を廃してロッジ白樺館をオープン。以来学校団体受け入れを中心に、スキーやフィールドアスレチックなど野外教育をセットにした宿泊施設を展開。2008年に滋賀県国境スキー場を皮切りにスキー場運営を開始。2014年3月に世界最大スノーリゾート運営会社、フランスカンパニーデザルプと資本提携を発表。今後アジア戦略やインバウンドも視野に入れたスノーリゾート再生事業に挑む。

現在、日本国内に35スキー場、29ホテル、14グリーンリゾート、5キャンプ場、9ゴルフコースを運営(指定管理を含む。2015年10月1日時点)。2014-15年冬期運営スキー場総入場者数累計で約294万人。

URL:<http://macearthgroup.com/>

■一ノ本 達己(いちのもと たつみ/株式会社マックアース 代表取締役CEO)

1967年兵庫県生まれ。1990年京都産業大学経営学部卒。同年マックアース入社。1995年同社代表取締役就任。2008年よりスキー場再生事業に乗り出す。

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

奥琵琶湖マキノグランドパークホテル 〒520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜763-2

TEL 0740-28-1111 FAX.0740-28-1110 E-Mail:y.isoishi@macearthgroup.com

イソイシ ユウコ

担当：磯石 裕子